

大震災 からの 復興

～奥尻町・北海道南西沖地震の経験を踏まえて～

日時 2012年6月22日[金] 開場 17:30～
開会 18:00～

場所 札幌市男女共同参画センター(エルプラザ)ホール
札幌市北区北8条西3丁目

主催 北海道弁護士会連合会、札幌弁護士会、
日本弁護士連合会

【基調報告】

奥尻復興の現場から

竹田 彰氏 奥尻町総務課長

【パネルディスカッション】

災害現場から～復興のあり方を考える

パネリスト

竹田 彰氏 奥尻町総務課長

定池 祐季氏 北大地震火山研究観測センター助教

永井 幸寿氏 日弁連・前災害復興支援委員会委員長 他

コーディネーター

島田 度氏 札幌弁護士会 弁護士

【特別報告】

北海道における広域避難者支援の取り組み

湊 源道氏 ようこそあったかい道・主催者

お問い合わせ先 札幌弁護士会

札幌市中央区北1条西10丁目 札幌弁護士会館7階
TEL 011-281-2428 FAX 011-281-4823 <http://www.satsuben.or.jp>



大震災からの復興

～奥尻町・北海道南西沖地震の経験を踏まえて～

2011年3月11日、東日本大震災が発生。

この甚大な被害に対して、国は「東日本大震災からの復興基本方針」を発表し、復興計画の策定に着手した。

しかし、現在、国主導で進められている復興計画ではたして問題はないのか。

同じく壊滅的な被害を受けた奥尻島は、1993年7月12日の北海道南西沖地震から19年を経て、その復興のプロセスがふたたび注目を浴びている。

すべての被災者にとって、安全で安心な生活基盤の回復を早期に図るために、

被災地住民の意向を反映した復興まちづくりの策定とその実施が早期に求められているいま、

奥尻島でのかけがえのない経験を生かすときがきている。

大震災の復興はまだ道半ばである……

時空翔 北海道南西沖地震の犠牲者への慰霊碑



プロフィール



たけだ あきら
竹田 彰氏
奥尻町総務課長

日本大学卒

奥尻町役場総務課長

北海道南西沖地震の際には奥尻町町民課福祉係長職にあった。

北海道南西沖地震被害からの復興とまちづくりに行政の立場から長年携わってきた経験を有する。

現在は、奥尻町役場総務課長として、奥尻町の復興の経験を国や他の自治体に伝えるべく多忙な日々を送る。



さだいけ ゆき
定池 祐季氏
北大地震火山研究観測センター助教

北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター・助教。北海道大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士(文学)。

専門は災害社会学、地域社会学、防災教育。上川郡剣淵町出身。北海道南西沖地震を奥尻島で経験。公務員、NPO勤務、「人と防災未来センター」(神戸市)研究員を経て2011年4月より現職。

■主な研究テーマ：被災地における持続可能な復興のあり方をめぐる研究

災害へのしなやかさを持った地域づくりのための防災教育のあり方をめぐる研究

■主な研究対象地域：北海道奥尻町、有珠山周辺地域



ながい こうじゅ
永井 幸寿氏
日弁連・前災害復興支援委員会委員長

1955年生

1990年弁護士登録

兵庫県弁護士会所属、日本災害復興学会理事。阪神大震災に被災、その後の法律相談と復興に精力的に取り組んできた。

今回の震災でも、日弁連の中心メンバーとして、国への立法提言を行うとともに、被災地に何度も足を運び石巻市などの復興事業に関わっている。



みなと げんどう
湊 源道氏
ようこそあったかい道・主催者

株式会社ルーツ・オブ・ジャパン代表取締役。

震災直後から、家財道具の提供と被災者のコミュニティ発生を目的とし、「ようこそあったかい道」を企画・運営。

被災避難者の自助会・みちのく会の発起人も務める。

